

平成 29 年 3 月 3 日
株式会社日本政策金融公庫**前年度比倍増となる地域金融機関 CLO を発行**

～地域金融機関との連携により、中小企業者向け無担保資金供給の円滑化を支援～

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）中小企業事業は、3月3日、地域経済活性化の担い手となる中小企業者に対する無担保貸付債権を裏付けとする **CLO（貸付債権担保証券）を発行しました**。本 CLO は地域金融機関、日本公庫及び機関投資家による証券化手法を活用した連携商品であり、平成 28 年 3 月実施の前回案件に続き、2 年連続での組成となります。

組成規模は、貸付債権額ベースで 257.48 億円（前回 121.67 億円）、貸付社数ベースで 1,009 社（前回 524 社）、参加金融機関数ベースで 18 機関（前回 9 機関）と、前回案件から倍増しています。背景としては、担保に依存しない貸付メニューのひとつとして、地域金融機関の利用ニーズが高まったことや、運用難の環境下、相応の利回りを確保できる商品として、機関投資家の投資ニーズが高まったことなどが考えられます。

日本公庫は、国の施策に基づく政策金融機関として、今後とも証券化手法を活用して、地域金融機関による中小企業者への無担保資金の円滑な供給を支援するとともに、中小企業 CLO 市場の整備を行っていきます。

<今回の CLO（シンセティック型（※））の概要>

- ◆ CLO 発行日：平成 29 年 3 月 3 日
- ◆ 発行会社：合同会社クローバー2017
- ◆ CLO 発行額：248.03 億円
- ◆ 当初貸付債権総額：257.48 億円
- ◆ 貸付社数：1,009 社
- ◆ 地域金融機関：七十七銀行、清水銀行、但馬銀行、東日本銀行、みなと銀行、福岡中央銀行、飯能信用金庫、朝日信用金庫、西武信用金庫、諏訪信用金庫、富山信用金庫、金沢信用金庫、大阪信用金庫、大阪シティ信用金庫、姫路信用金庫、西中国信用金庫、愛媛信用金庫、長野県信用組合（計 18 機関）
- ◆ A 号社債：134 億円（AAA）、利率「3 ヶ月 TIBOR+0.31%」、機関投資家が購入
- ◆ B 号社債：92.03 億円（BBB-）、利率は非公表、日本公庫が購入
- ◆ C 号社債：22 億円（AA+）、利率「3 ヶ月 TIBOR+0.20%」、機関投資家が購入
(C 号社債は日本公庫が元利金を全額保証)

※今回実施するシンセティック型とは、証券化対象の貸付債権を譲渡することなく、クレジット・デフォルト・スワップ（CDS）契約により、貸付債権の信用リスクのみを特別目的会社（SPC）に移転させ、証券化を行う手法です。

<スキーム図>

